

## あとがき

『利賀村史』は、編纂委員会長米澤康氏の指揮のもと三分冊、全八章（後に全九章に変更した）の構成で編纂事業に取り組み、平成十一年三月に『利賀村史 2 近世』を出版した。その後は米澤氏の体調がすぐれなかったこともあつて中断し、米澤氏が十分に回復されることなく同年十月に逝去されたので、委員各位によつて執筆された原稿も宙に浮いたままとなっていた。

平成十四年度より、従来からの須河隆夫氏のほか、新たに佐伯安一、湯浅純孝、西井龍儀、金龍教英の各氏を委員に迎え、編纂事業を再開することとなった。

同年八月二十一日には、再開後第一回目の委員会を開催し、監修と委員会長を佐伯委員、第一章（自然）を湯浅・須河委員、第二章（原始・古代）を西井委員、第三章（中世）を金龍委員が担当することを決めた。いずれも各分野の第一人者である。また、同日の会議では、執筆委員を別途選任すること、原稿執筆の一部を浦辻が担当することなども決め、後に菊川茂、小島俊彰、野原大輔、岡田一広の各氏を執筆委員に選任した。各氏のおもな所属・役職等は次のとおりである。

佐伯安一 富山県文化財保護審議会委員（元会長）

湯浅純孝 富山県自然博物館ねいの里館長、（財）日本鳥類保護連盟評議員・富山県支部長

須河隆夫 利賀村文化財保護審議会会長

西井龍儀 富山県文化財保護審議会委員、富山考古学会副会長

金龍教英 富山県公文書館嘱託

菊川 茂 立山カルデラ砂防博物館長

小島俊彰 金沢美術工芸大学教授 富山県考古学会会長

野原大輔 砺波市教育委員会学芸員

岡田一広 利賀村教育委員会嘱託

浦辻一成 利賀村史編纂室長

その後、数次にわたって村史編纂委員・執筆委員合同会議を開き、細部を検討しつつ原稿執筆に取り組んでいただいた。この間、町村合併問題にからんで発刊時期が当初の平成十七年三月末から平成十六年十月末に繰り上がり、多忙な委員各位に多大なご迷惑をかけることとなったが、平成十六年三月までには原稿がほぼ出そろい、無事発刊にこぎつけることができた。委員各位のご尽力に心から感謝を申し上げたい。

執筆分担等は次のとおりである。なお、共同執筆分は主たる執筆者を先に掲げた。また、（ ）内は図版の作成作業に加わったことを示している。

監修

佐伯

第一章 歴史の舞台―郷土の自然―

第一節 地形と集落

須河・浦辻

第二節 地質

浦辻・菊川

第三節 気候

須河・浦辻

第四節 動物―生き物と共生―

湯浅

第五節 植物―分布とその特徴

須河

第二章 郷土のあけぼの（原始・古代）

第一節 氷河期を生きた人々

西井

第二節 定住の始まり

一 縄文時代

西井（岡田）

二 遺跡の分布と立地

野原（西井・岡田）

三 地域を越えた交流

石器材料／正硅岩

西井（岡田）

ヒスイ製品／ヒスイ製大珠

野原（西井・岡田）

トチムキ石

西井（岡田）

三頭石斧・環状石斧

西井（岡田）

四 信仰に支えられた生活

祭祀具／御物石器

西井（岡田）

石冠／石棒・石刀

野原（岡田）

第三節 生活環境の変化

西井

第四節 発掘された遺跡

一 高沼遺跡

岡田（西井）

二 岩渕久保平遺跡

小島（西井・岡田）

三 矢張下島遺跡

岡田（西井）

第五節 考古学研究の先達

西井

第三章 真宗と五ヶ山（中世）

第一節 本願寺と五箇山 金龍

第二節 十日講と本願寺勤仕 金龍

第三節 戦国期の五ヶ山 金龍

第四節 中世の考古資料 西井

利賀村の歴史年表 西井・浦辻・金龍・野原・岡田

索引 浦辻・岡田

本書と同時に『利賀村史 3 近・現代』も刊行し、ここに『利賀村史』全三巻が完結することとなった。多年にわたり、編纂事業にご協力いただいた村内外のすべての皆様に、深く深く感謝を申し上げます。

（浦辻記）

○ご教示・ご協力をいただいた人々・団体

大平愛子、久々忠義、斉藤隆、佐伯哲也、高田盛政、立田佳美、橋本正春、長谷忠明、林浩明、藤田富士雄、古川知明、保科齊彦、宮田進一、宮塚義人、邑本順亮、山本正敏、米澤修、渡辺誠、井口村、西勝寺、飛驒市教育委員会

○測量、実測、復元など作業者

東咲子、石黒智子、笠原いゑ子、久保浩一郎、小倉尚子、斉藤寿美子、高熊りゑ、野原アナセシリア、水谷圭吾、（株）エイテック



(22) 考古学史年表（遺跡確認数の推移）

2000	平成 12年	25	矢張下島・利賀 下島・長崎・栃 原念仏道場跡・ 大豆谷比丘尼屋 敷跡	利賀村教育委員会・富山県埋蔵文化財センターによる分布 調査で確認する。 〔利賀村教育委員会 2004『矢張下島遺跡発掘調査概報Ⅰ』〕
2001	平成 13年	26	栃原峠東堀切・ 栃原峠西堀切・ 井波鶏塚	八乙女山砦跡から栃原峠東堀切・栃原峠西堀切を分離、井 波鶏塚を登録抹消する。
			矢張下島	試掘調査を実施する。
2003	平成 15年	27	矢張下島	本発掘調査を実施する。縄文時代中期から晩期、江戸時代 の遺跡と判明。水さらし場遺構が全国で23番目に確認され た。
			坂上東山・坂上 権現平 坂上館	村史編纂による分布調査で確認する。
2004	平成 16年	28	岩渕浅生谷・細 島宮平	村史編纂による分布調査で確認する。岩渕遺跡を岩渕久保 平遺跡に、細島遺跡を細島西ノ平遺跡に名称変更する。
			矢張下島	本発掘調査を実施する。
			鉢巻山城跡	登録抹消する。

考古学史年表（遺跡確認数の推移）（21）

1957	昭和 32年	12	坂上・上畠・岩 測・豆谷 仙納原・細島	〔米澤 康 1957「五箇山の石器とその時代」『月刊北日本』 7-6〕 ・上畠の石棒、岩測の三頭石斧、坂上赤谷の勾玉について詳述。
1959	昭和 34年	15	仙納原・押場・ 北豆谷・大豆 谷・利賀・利賀 東山・岩測・北 島・細島・上 畠・坂上御坊 平・坂上望ヶ 原・坂上赤谷・ 阿別当	米澤 康が利賀村内の遺跡を発表する。 〔米澤 康 1959「越中五箇山における縄文式遺跡・遺物」 『地方史研究』39〕 ・大豆谷・利賀・利賀東山・北島の各遺跡の初見。利賀 は以後の文献に記載なし。
1961	昭和 36年	16	高沼	利賀中学校高沼分校教諭の保科齊彦により、村内初の発掘 調査を実施。 〔保科齊彦 1961『高沼縄文式土器時代遺物包含地発見概況 報告書』〕
1965	昭和 40年	17	仙納原・高沼・ 押場・北豆谷・ 大豆谷・岩測・ 利賀東山・北 島・細島・上 畠・坂上望ヶ 原・坂上御坊 平・坂上赤谷・ 阿別当・伝大野 権兵衛塚	〔富山県教育委員会 1965『富山県遺跡地図』〕
1972	昭和 47年	17	仙納原・高沼・ 押場 北豆谷・大豆 谷・利賀東山 岩測・北島・細 島 上畠・坂上望ヶ 原 坂上御坊平・坂 上赤谷 阿別当・伝大野 権兵衛塚	〔富山県教育委員会 1972『富山県遺跡地図』〕 ・高沼→縄文中・後、大豆谷・利賀東山→縄文、その他 →縄文後期
1977	昭和 52年	17	岩測	利賀村教育委員会からの依頼で、小島俊彰によって試掘調 査を実施する。
1978 ～ 1997	昭和 53～ 平成 9年	20	八乙女山砦跡・ 井波鶏塚・鉢巻 山城跡	この間に3遺跡が登録される。
1998	平成 10年	20	坂上望ヶ原	試掘調査実施。〔富山県埋蔵文化財センター 1999『富山県 埋蔵文化財センター年報』〕

## (20) 考古学史年表 (遺跡確認数の推移)

1913	大正 2 年	8	坂上地内	坂上村小字小宮の阪にて打製石斧を採集。(11月)[米澤 1911 b]
			坂上館	前川好則が石斧を発見。(春)[米澤 1911 b]
1914	大正 3 年	8	上畠	中谷長太郎より上畠村御假屋敷発見の八角形小杯を寄贈。(2月)[米澤 1911 b]
			坂上館	敏磨が坂上小字館にて「石斧 1 箇」を採集。[米澤 1911 b]
			岩測(久保ノ平)	端保作太郎から 5 月久保ノ平出土の「石斧 3 箇」寄贈。同、野原次七郎より「石斧 1 箇」寄贈。同、京井忠平より「土器片 3 箇」寄贈。(9月)[米澤 1911 b]
			北豆谷	斉藤清七より昨秋発見の「石斧 1 箇」寄贈。(2月)[米澤 1911 b]
			阿別当	向坂で「打製石斧 1 箇」採集。[米澤 1911 b]
			坂上望ヶ原	坂上村米澤甚十郎家付近で「磨製石斧 1 箇」発見。(11月)[米澤 1911 b]
1915	大正 4 年	11	岩測	野原善右ヱ門より前年 11 月中旬発見の「石斧 2 箇、土器片(土器の取っ手か) 1 箇」寄贈。[米澤 1911 b]
			上畠	打製石斧を発見。[米澤 1911 b]
			坂上(万草嶺)	米澤甚十郎より小字万草嶺付近で発見の「石槌 1 箇」寄贈。(6月)[米澤 1911 b]
			阿別当	「錘石 1 箇」採集。[米澤 1911 b]
			坂上(原)	坂上村小字原で「打製石斧 1 箇(稍欠損)」採集。[米澤 1911 b]
			北豆谷	野原清四郎、「磨石斧挫片 2 箇」発見。翌年 3 月寄贈。(4月)[米澤 1911 b]
			押場	荒井万吉、磨製石斧を発見。(10月)[米澤 1911 b]
1916	大正 5 年	11		雲處、坂上西勝寺倉庫後の畑地で「石斧 1 箇」「石鏃十数箇」を発見。野原政吉、打製石斧「長さ 7 寸に達するものにして石質は利賀川に多い花崗岩の一種」を採集・寄贈。[米澤 1911 b]
			坂上館	敏丸、館にて土器の小破片を採集。[米澤 1911 b]
			岩測(久保ノ平)	高田昇賢より久保平発見の「石斧の土中にて朽腐したもの 1 箇」寄贈。[米澤 1911 b]
			上畠	畑畔にて「円石 1 箇」採集。[米澤 1911 b]
1917	大正 6 年	11		〔東京帝国大学 1917「日本石器時代人民遺物発見地名表」(第 4 版)〕
1918	大正 7 年	11		米澤安立、没す。(享年 47 歳)
1936	昭和 11 年	12	仙納原・岩測・坂上	坂上「最(西)勝寺の裏山畑地」で「石棒・石斧・曲玉・石鏃」出土→望ヶ原・赤谷を指す。仙納原の初見。〔早川莊作 1936「越中史前文化」〕
1950	昭和 25 年	12	上畠・岩測(丸ノ上)・仙納骨原・細島・東細島・坂上・北豆谷・押場	〔富山考古学会 1950「富山縣石器時代遺跡地名表」〕 ・地名表には「尾ノ上」(正)を「丸ノ上」(誤)、「仙納原」を「仙納骨原」(誤)とする誤記がある。坂上で「曲玉」出土とは、坂上赤谷遺跡のことである。細島・東細島は同一の遺跡である(大正 2 年の字名変更により「東細島村」から「細島」になった)。



《考古学史年表（遺跡確認数の推移）》

西暦	和暦	確認 遺跡 数	遺跡名	状況・文献など
1906	明治 39年			米澤安立、坪井正五郎紹介で東京人類学会会員となり「人類学室」開設。（9月） 祖山で石棒を発見。米澤雲處より寄贈。（庄川沿岸五箇山地方で初の石器発見）（10月） 〔川本 清 1954「五箇山の石器と故米澤安立師」『越飛文化』創刊号〕
1909	明治 42年	2	細島（東細島）	農夫が石斧1、石棒1、異形石器1を発見。米澤が踏査し、土器片5～6点採集。 〔米澤安立 1910「越中利賀村発見の石器」『東京人類学会雑誌』293〕
			坂上（望ヶ原）	坂上（望ヶ原か）にて刃部が欠損した石槌転用品を発見。 〔米澤安立 1912「刃の欠損せる石斧を槌に用いた一例」『人類学雑誌』28-3〕
1910	明治 43年	4	岩測（尾の上）	無孔三頭石斧1、圓石3、石斧3、蛇の目石斧1発見。米沢踏査、土器片2～3点採集。 〔米澤安立 1911a「十字形石器の類品に就いて」『人類学雑誌』27-3〕
			坂上赤谷	米澤専乗より赤谷勾玉を寄贈される。〔米澤安立 1911b「徴古室記録」第壹号〕
1911	明治 44年	5	北豆谷	浦辻清次郎、野原清四郎より米澤へ石器数点を寄贈される。 〔米澤 1911b〕
				米澤、「人類学室」から「徴古室」と改名。（12月）
	明治 45年	6	北豆谷	野原清四郎、野原平蔵より「石鑿1個 石斧4個」寄贈。（2月）〔米澤 1911b〕
			岩測（尾の上）	高藤新太郎より「土器破片数十片」、野原善右衛門より「石斧1個」寄贈。（5月）〔米澤 1911b〕
			坂上御坊平	坂上小字御坊村発見の石器を得る。（7月）〔米澤 1911b〕
1912			坂上望ヶ原	米倉仁十郎より同家附近発見の「石斧2個」寄贈。（8月）〔米澤 1911b〕
	大正 元年	7	阿別当	小字向坂の砂道にて「打製石斧1個」を採集。（9月）〔米澤 1911b〕
			岩測	小字地田にて土器片数点と欠損した磨製石斧を採集。（9月）〔米澤 1911b〕
			細島	東細島村高田長次郎が水田変換工事の際、石棒・石斧・石剣を発見。（11月）〔米澤 1911b〕
1913	大正 2年	8	北豆谷	野原清四郎より小字猿峰で発見された「石斧、滑車形土器」を寄贈。「滑車形土器の発見は県下における嚆矢ならん」（2月）〔米澤 1911b〕
			岩測（久保ノ平）	端保作太郎より岩測村小字久保ノ平で発見された土器（蓋）、石斧、磨製石斧寄贈。5月、米澤現地踏査を行い、「土器製作所」と推察。〔米澤 1911b〕 高藤吟蔵より久保ノ平発見の石斧（俗に天狗の爪石といふよし）寄贈。同、久保間右衛門より土器片を寄贈。（7月）〔米澤 1911b〕



## (18) 利賀村の歴史年表

1580	天正 8	4 月金沢御堂が柴田勝家らの攻勢で陥落	359
		11月加賀一向一揆が壊滅的な打撃をこうむる	359
1581	9	2 月までに佐々成政が越中に入部する	364
		9 月瑞泉寺顕秀が成政の攻勢に対し上杉景勝の出陣を求める。その返書が五ヶ山にも届く	360
		佐々成政が瑞泉寺を攻略し瑞泉寺は五ヶ山をへて北野村に移る	268
		光西寺が戦火に遭い、栃原に移住(慶長17年に西島に移転)	317
1582	10	4 月上杉景勝が善徳寺に一向一揆を催促する	359
		6 月本能寺の変で織田信長が自刃	359
1583	11	前田利家の軍勢が瑞泉寺跡に築かれた井波城を攻める	
		6 月佐々成政が赤尾に禁制を下す	367

## 《近世(前田氏越中入部以後、真宗関係を中心に)》

西暦	和暦	内 容	本書対照
1585	天正13	閏 8 月羽柴秀吉が瑞泉寺(砺波郡北野寺内)に禁制を下す	
		9 月秀吉が前田利長に利波・射水・婦負の 3 郡を与える	
		10月前田利長が五ヶ山からの河上糸請取状を出す	
1596	慶長元	瑞泉寺が北野寺内から井波の旧寺地近くに移る	
1598	3	5 月本願寺坊官の奏者が常願寺跡目について真光寺などへ書簡を送る	309
1601	6	西勝寺が本願寺から顕如絵像をうける	374
1605	10	大豆谷村空善が本願寺准如から木仏御免をうける	311
1607	12	西勝寺が本願寺から教如寿像をうける	374
1622	元和 8	西勝寺が本願寺から聖徳太子・七高僧絵像をうける	375
1631	寛永 8	西勝寺が本願寺から親鸞絵像をうける	372
1649	慶安 2	井波瑞泉寺が西方から東派に改派	315
1665	寛文 5	池尻真光寺が西方から東派に改派	313
1685	貞享 2	加賀藩領内の寺が寺社奉行に由緒書を提出する	369
		この年までに城端に惣道場(瑞泉寺)が創建される	315
1686	3	西勝寺が専光寺に五尊下付の年時書上げを提出する	371
1745	延享 2	西勝寺本堂・庫裏が全焼	375

1481	文明13	2月瑞泉寺一向一揆が山田川田屋川原で福光城主石黒光義を討つ	
		文明年間、加賀砂子坂に城端善徳寺前身の坊舎が建つ	
1488	長享2	6月加賀の一向一揆は守護富樫政親の城を攻め落とす	
1490	延徳2	赤尾の道宗はここから山科本願寺で毎年蓮如に面謁する	
1496	明応5	2月蓮如が赤尾の道宗(弥七)についての御文をしたためる	
1501	文亀元	12月赤尾の道宗が21ヵ条の信心の心得をしたためる	335
1506	永正3	長尾能景が増山城を攻める	
1513	10	実如下付の本尊裏書に「五ヶ山」の文言が初めてみえる	310
1519	16	長尾為景が越中に侵攻	
1521	大永元	7月長尾為景が再度越中へ侵攻	
1522	2	西勝寺が本願寺9代実如から本尊下付をうける	374
1523	3	蓮如25回忌に河上衆や五ヶ山衆が非時(夕食)の施主となる	319
1531	享禄4	加賀で大小一揆が始まり、越中勢も加賀へ進攻する	314
			333
1536	天文5	越中五ヶ山門徒から糸・綿などが本願寺に上納される	322
1537	6	10月平本正一と猪谷屋の本尊裏書に「利賀」の表記が初めてみえる	364
1538	7	本願寺が加賀一揆の指導者下田長門の成敗令を加賀・越中の門末に下す	326
1542	11	本願寺の三十日番役に越中衆が登場するようになる	
1546	15	金沢御坊が設立される	314
1552	天文21	10月五ヶ山門徒衆の86人が十日講の誓詞連判をする	336
1560	永禄3	10月武田信玄が瑞泉寺家宰上田藤右衛門尉に神保氏とともに景虎留守中の越後出陣を求める	
1562	5	前年に続き神保氏討伐のため上杉謙信が越中に進攻する	351
1565	8	3月本願寺が反上杉の姿勢を明らかにし、武田信玄と盟約を結ぶ	348
1570	元亀元	石山合戦起こる。西勝寺明順らが本願寺に鉄砲と塩硝を送る	356
1572	3	1月本願寺顕如が武田信玄に椎名氏の救援を要請する	
1573	4	1月を最後に椎名氏は史料に表われず、滅亡に至ったとみられる	354
		4月武田信玄病死	356
1573	天正元	室町幕府が滅びる	355
	3	8月越前一向一揆が信長によって壊滅する	356
1580	8	3月石山本願寺顕如が信長と和睦	356
		4月顕如が石山を退去	357

## (16) 利賀村の歴史年表

1181	養和元	7月野尻・河上・石黒党が源氏に味方して挙兵する	
1183	寿永2	5月源義仲が砺波山東に布陣し埴生八幡宮に戦勝祈願をする この日、義仲軍が平家軍を夜襲して破る 藤原利仁将軍三男が越中で井口氏と称して子孫繁盛する	
1185	文治元	平氏滅亡 源頼朝が守護・地頭設置	
1191	建久2	長講堂所領注文に新保御厨の絹・綿の課役がみえる(越中産糸綿の初見史料)	328
1192	3	源頼朝が鎌倉幕府を開く	
1205	元久2	このころから法然の浄土宗が北陸・東海で盛んになる	271
1207	建永2	法然が土佐・親鸞が越後に配流となる	271
1209	承元3	6月法然上人絵伝に越中の光明房の名がみえる	271
1212	建暦2	信楽玉桂寺の仏像内に4,000人の越中国百万遍勤修人名がある	272
1298	永仁6	時宗二祖他阿真教が越中に遊行する	273
1299	正安元	時宗の浄阿真親が野尻郷で念仏勧進を行い日蓮宗徒の迫害を受ける	274
1306	嘉元4	高瀬荘が亀山天皇皇女昭慶門院の荘園となる	
1334	建武元	建武の中興	
1338	暦応元	8月足利尊氏が征夷大將軍となる(室町幕府の成立)	
1360	延文5	「存覚袖日記」に「水橋門徒」の文言がみえる	274
1362	康安2	桃井直常が井口城に逃げて隠れ、桃井の軍が離散する 桃井直常追討の二宮円阿が和田城や庄城で戦う	
1369	応安2	清水村住人秀君が真光寺創建 9月得田章房が千代様城などを攻め、井口城が落城する	311
1378	永和4	大豆谷八幡宮僧形八幡神像が造像される	390
1390	明德元	8月沙門堯雲が越中井波に瑞泉寺建立の勧進状をしたためる	278
1392	3	8月京都相国寺の落慶供養に井口彦五郎らが参列する 閏10月南北朝の合一	363
1393	4	大豆谷八幡宮の小神像にこの年の銘がある	390
1413	応永20	12月東寺百合文書の越中国棟別銭免除在所書上に「なしとかいの口方」の文言がみえる	361
1456	康正2	11月井口国忠が高瀬莊地頭方代官職を請け負う	363
1467	応仁元	5月応仁の乱が起こる ~1477	
1469	文明元	7月蓮如は親鸞御影を瑞泉寺蓮乗に下付する	
1471	3	5月本願寺8代蓮如が越前吉崎に下向し北陸教化の拠点とする	282
1475	7	7月蓮如が井波を訪れて布教する(賢心物語)	283



弥生時代	AD.100 (後期)	・ 農耕集落が営まれ木製品が大量に使用される (上市町江上 A 遺跡)
古墳時代	AD.300 (前期)	・ 前方後円墳や前方後方墳が築かれ始める (氷見市柳田布尾山古墳) ・ 共通の特徴がある土器が使用され地方色が見られなくなる
	AD.400 (中期)	・ 大和政権がほぼ全国を統一する ・ 前方後円墳にかわって大型円墳が各地に築かれる (小矢部市谷内21号墳) ・ 各地で須恵器が使用されるようになる
	AD.500 (後期)	・ 埴輪のある古墳が築かれる (小矢部市若宮古墳・氷見市朝日長山古墳)
	AD.600 (終末)	・ 県西部を中心に横穴古墳がつくられる (福岡町城ヶ平横穴墓群)

## 《古代・中世》

西暦	和暦	内 容	本書対照
645	大化元	大化の改新 翌年詔が發布	
702	大宝 2	大宝律令が頒布され、越中国から 4 郡が分離して越後に編入する	
710	和銅 3	3 月平城京に遷都	
746	天平18	6 月大伴家持が越中の国司として赴任する ～751	
747	19	9 月砺波臣志留志が東大寺盧舎那仏知識として米3000碩を寄進する	
748	20	この春、大伴家持は出挙のため砺波郡など諸郡を巡行する	
752	天平勝宝 4	東大寺の大仏開眼供養	
759	天平宝字 3	11 月砺波郡伊加流伎野など越中の開田地図が上申される	
767	神護景雲元	3 月利波臣志留志が壱田100町を東大寺に寄進する	
780	宝龜11	12 月高瀬神が二上神とともに従五位下の位を授かる	
794	延暦13	10 月平安京に遷都	
854	斉衡元	高瀬神が従三位の位を授かる	
910	延喜10	10 月越中国の砺波郡川上・意斐などの村々の官倉での収納高が「越中国官倉納穀交替記」にある	
1168	仁安 3	高瀬荘が京都烏羽の安楽寿院内に供養の米を納める	



(14) 利賀村の歴史年表

利賀村の歴史年表

《原始》

時代年代		内 容
旧石器時代 (先土器)	25000年前	・ 小型のナイフ形石器や局部磨製石斧を使用する人々が生活する (立野ヶ原遺跡群) ・ 始良火山の火山灰が全国各地に降下する
	17000年前	・ 縦剥ぎのナイフ形石器が使用される (福光町鉄砲谷遺跡) ・ 尖頭器が使用される (福光町立美遺跡)
縄文時代	13000年前 (草創期)	・ 細石刃を剥ぐ舟底形石核が使用される (小矢部市日の宮遺跡) ・ 洞窟や岩陰を利用して生活する
	9500年前 (早期)	・ 竪穴住居がえられる (城端町神明原 A 遺跡) ・ 土器の文様に地方差があらわれる
	6500年前 (前期)	・ 東海地方の影響を受けた薄手の土器が使われる (小杉町南太閤山 I 遺跡)
	5000年前 (中期)	・ 半截竹管文など装飾性豊かな土器がえられる (矢張下島遺跡) ・ 貝殻腹縁文などの特徴がある土器が北陸地方に広く使用される (串田新式土器・岩渕久保平遺跡・高沼遺跡)
	4000年前 (後期)	・ 刺突文がある気屋式土器が北陸各地で使用される (福野町五百歩遺跡) ・ 平行沈線文を特徴とする土器が使われる (井口式土器・井口遺跡)
	3000年前 (晩期)	・ 御物石器が北陸地方で広く使用される (矢張下島遺跡・西勝寺蔵遺物) ・ 集落内に大きな木柱が環状に立てられた (井口遺跡)
弥生時代	BC.300 (前期)	・ 弥生文化が西日本に広まる ・ 稲作が東北日本にまで広がる
	BC.100 (中期)	・ 西日本で銅剣・銅鐸・銅鏡など青銅器が使われる ・ 櫛目文土器が各地で使用される (高岡市石塚遺跡) ・ 石器に代わって鉄工具の使用が進む

孫五郎吉信	347
益田照徒	360
又大郎家長	347
松尾の天柱石	378
満座	320
万法寺	303, 304
三木良頼	352
水橋門徒	274
南光信	356
明恵	370, 372, 374
冥加金	283
妙敬寺	281
明順	357
明心	331
明清	370, 374
三好三人衆	355
棟別銭	363
村殿	346
室牧	310
木仏	371
木仏御免	375

や

八乙女山砦	366
矢張下島遺跡	366, 376
山科本願寺	296
山の神峠	311
唯教寺	281
唯通重家	324
祐玄	357
猶子	277, 281
讓状	278
養照寺	357

養照寺由緒書	358
吉崎	283, 300
吉崎御坊	300
吉藤専光寺	371
米澤安立	379

ら

了源	313
林西寺	287
蓮欽	282, 314
蓮恵	314
蓮華寺	368
蓮悟	282, 289, 314, 331
蓮乗	281
蓮如	277, 279, 281, 282, 287, 290, 298, 300, 318
蓮如消息	285
蓮如上人遺文	296
蓮如上人塵拾鈔	318
蓮祐	283
六字名号	283
六角承禎	355
六角義賢	348

わ

綿	322, 328, 334, 339, 340
和田本覚寺	287, 374

## な

長尾景虎 (上杉謙信) .....	349
長尾喜平次 (顕景) .....	354
長尾為景 .....	330, 350
長尾輝虎 .....	349
長崎遺跡 .....	376
なしとか .....	362
如覚 .....	308
如秀 .....	281, 282
如乗 .....	280
如了 .....	282
如蓮 .....	278
野木加右衛門 .....	310
野尻 .....	278

## は

白山系の峰ルート .....	287, 288
羽柴秀吉 .....	366, 367, 370
畠山勝王 .....	330
畠山氏 .....	290
畠山尚順 .....	330, 350
畠山基国 .....	363
畠山義綱 .....	351
畠山義英 .....	330
畠山義総 .....	330
鉢伏山砦 .....	366
埴生八幡宮 .....	365
番衆 .....	306
東赤尾村道宗一代記 .....	290
東本願寺 .....	291, 369, 370
比丘尼屋敷 .....	377, 386
非時 .....	319

非時頭役 .....	321, 335, 364
秀君 .....	311
日野一流系図 .....	279
日野家 .....	275
日野資康 .....	277
日野富子 .....	277
広橋家 .....	277
藤原良経 .....	271
二俣 .....	280
平家落人伝承 .....	376
平家落武者 .....	384
遍智院 .....	277
宝篋印塔 .....	377, 382
法然 .....	271
北条氏康 .....	354
細川高国 .....	332
細川晴元 .....	332, 347
堀切 .....	367
本覚寺 .....	288, 290, 299, 302, 305, 314, 316, 318
本覚寺道場 .....	302
本願寺 .....	299, 328, 332, 336, 348, 352, 370
本敬寺 .....	317
本郷 .....	368
本誓寺 .....	301
本泉寺 .....	280, 281, 282, 313, 331
本能寺の変 .....	359

## ま

前田利家 .....	364, 370
前田利長 .....	370
前田長種 .....	309



神保長職 .....	351, 364
神保慶宗 .....	330
親鸞 .....	271, 275, 319
親鸞絵像 .....	371
瑞泉寺 .....	271, 274, 279, 281, 283, 313, 314, 315, 340, 360, 365, 366
須恵器 .....	366
杉尾峠 .....	366
杉谷 .....	278
杉谷慶善 .....	274, 278
杉谷峠 .....	366
図書了歎 .....	341
珠洲陶 .....	366, 376, 378, 381
須田満親 .....	366
勢観房源智 .....	272
正宗 .....	284
聖徳太子絵像 .....	371, 375
専光寺 .....	291, 305, 371, 374
専称寺 .....	274
禅照寺 .....	310
専徳寺 .....	305
善徳寺 .....	281, 314, 316, 359, 366
善如 .....	277
専念寺 .....	357
僧形八幡神像 .....	387, 390
祖谷本敬寺 .....	317
存覚 .....	274, 277, 308, 311
存如 .....	277, 279

た

他阿上人法語 .....	274
他阿真教 .....	273
大一揆 .....	332

醍醐寺 .....	277
大小一揆 .....	314
大乘院 .....	300
大泉寺 .....	314
高沼遺跡 .....	366
武田勝頼 .....	358, 360
武田信玄 .....	348, 351, 352, 354, 356
田中平城 .....	366
超勝寺 .....	290, 314, 333
土山坊 .....	330
手次寺 .....	312
天下布武 .....	354
天十物語 .....	289
天文日記 .....	322, 325, 326, 329, 334
東寺百合文書 .....	361
道宗心得二十一ヶ条 .....	290
道善寺 .....	299
道珎 .....	288
道珍 .....	341
道林寺 .....	284
十日講 .....	334, 336
十日講起請文 .....	325, 330
利賀 .....	364
徒覚 .....	277
戸加谷 .....	373
富河谷 .....	373
利加谷 .....	372, 374
斎 .....	319
斎頭役 .....	321
栃折峠 .....	310
栃原 .....	367
栃原峠 .....	366, 377



(10) 第3章(中世) 索引

権現平	387
厳照寺	281
さ	
西円	299
齊光寺	311
西勝寺	311, 357, 369, 371, 374, 305
斎藤竜興	354
西念寺	310
西方寺	310
左衛門尉	341
坂上次郎左衛門尉	346
坂上東山遺跡	366, 376, 381
坂本保	303
佐々成政	308, 360, 364, 367
さわん堂	377
三十日番衆	306
三宝院賢俊	277
椎名氏	350
椎名康胤	354
時宗	273
時衆過去帳	273
七高僧絵像	371, 375
実顕	333
実玄	282
実悟	279
実乗	308
実如	277, 297, 318, 319, 331, 333
実了	352
篠塚藤之進	288
柴田勝家	359, 364, 366, 367
下田長門	326
下利賀村惣道場	312

下間証念	353
下間幸頼	353
下間頼廉	356, 360
下間頼秀	332, 333
下間頼脈	309, 370
下間頼玄	319
下間頼充	324, 331
寂証	275
寂心	275
緯如	271, 274, 277, 278
修験者	378
遵西	271
准如	309, 311, 370
浄阿真観	274
小一揆	332
浄円	275
常願寺	308, 310
乗賢	308
勝興寺	281, 282, 312, 313, 366
聖光寺	288
松岡寺	314
浄宗	339
浄徳	288
証如	297, 321, 322, 334
称念寺	310
常楽寺	308, 310, 311, 312, 315
常楽寺少貳	310
照蓮寺	331, 334
白川	360
次郎左衛門尉	346
真光寺	310, 311, 313
尋尊	300
神保氏	350

## か

加賀一向一揆 .....314  
 加賀三カ寺 .....290, 331  
 覚如 .....277, 308  
 かこと善入 .....341  
 頭人 .....319  
 勝如 .....281, 282  
 金沢御坊 (御堂) .....314, 359  
 金沢支坊 .....340  
 河上 .....360  
 川上・五ヶ山衆 .....319  
 河上衆 .....283  
 河上十郷 .....326  
 観進状 .....278  
 かんだ .....326  
 蟹谷庄高木場 .....330  
 関東管領 .....351  
 北名道宗 .....341  
 蕨雲 .....278  
 教恩寺 .....313, 314  
 経覚 .....300  
 行空 .....271  
 教順寺 (大野市) .....281  
 教善 .....341  
 経塚 .....386, 387  
 行徳寺 .....285, 290, 297, 303, 342, 347,  
     369  
 教如 .....348, 356, 357, 359, 360, 370  
 行如 .....274  
 禁制 .....367  
 空勝 .....357  
 九条尚経 .....277

慶恩寺 .....314  
 慶寿院 .....321  
 慶順 .....284  
 敬勝寺 .....317  
 慶心 .....314  
 毛坊主 .....341  
 顕栄 .....353, 366  
 顕秀 .....340, 356, 360, 365  
 賢勝 .....308  
 賢心 .....277, 282, 289, 314, 316  
 賢心物語 .....277  
 顕誓 .....332  
 顕如 .....277, 347, 349, 354, 355, 356,  
     357, 370  
 見聞小録 .....379  
 小出城 .....367  
 光教寺 .....313, 314, 315, 332  
 幸西 .....271  
 広済寺 .....314  
 光西寺 .....317  
 光徳寺 .....305  
 巧如 .....277, 279  
 興福寺 .....271  
 光明房 .....271  
 五ヶ山 .....286, 299, 310, 318, 319, 325,  
     326, 328, 334, 356, 359, 360, 361,  
     366, 369  
 小来数専了 .....341  
 古瀬戸陶 .....376, 377, 378  
 五尊 .....371  
 小屋場平城 .....366  
 五輪塔 .....377, 382, 386  
 五郎衛門尉 .....341

## 第3章 (中世) 索引

## あ

- 赤尾 .....367  
 赤尾道宗 .....285, 287, 288, 290, 315,  
     318, 320, 335  
 赤尾道場 .....298  
 明智光秀 .....367  
 浅井長政 .....356  
 浅井久政 .....356  
 朝倉氏景 .....300  
 朝倉義景 .....356  
 足利尊氏 .....277  
 足利義昭 .....355, 361  
 足利義輝 .....350  
 足利義教 .....280  
 足利義晴 .....324, 332  
 足利義満 .....363  
 あへつたう了願 .....341  
 阿別当の石仏 .....378  
 新山峠 .....366  
 新山砦 .....366  
 安養寺 .....366  
 石山合戦 .....355, 357  
 石山本願寺 .....340, 355  
 一向一揆 .....303, 360, 361  
 一遍 .....273  
 糸 .....322, 328, 334, 339, 340  
 井口彦五郎奉忠 .....363  
 井口美濃守国忠 .....363  
 茨木長隆 .....332  
 岩渕久保平遺跡 .....366  
 上杉景勝 .....358, 359, 360, 361, 364, 366  
 上杉謙信 (長尾景虎) .....349  
 上杉輝虎 .....351, 354  
 上梨村白山宮 .....303  
 上畠徳祐 .....341  
 上畠遺跡 .....366, 376  
 魚津城 .....367  
 越前一向一揆 .....356  
 越前陶 .....376, 377, 378  
 越中国百万遍勤修人名 .....272  
 円西 .....341  
 円宗寺 .....277  
 塩硝 .....356  
 円如 .....331  
 延暦寺 .....282  
 笈ヶ岳 .....287  
 御飯屋々敷 .....379  
 太田資正 .....352  
 大谷本願寺 .....282  
 大野権兵衛 .....384  
 大野権兵衛塚 .....377, 381  
 大豆谷経塚 .....387  
 大豆谷道場 .....311  
 大豆谷八幡宮僧形八幡神像 .....387, 390  
 大豆谷村 .....311  
 織田信長 .....349, 353, 354, 355, 356,  
     358, 364  
 小谷 .....310  
 小谷島 .....310  
 小原道珍 .....341  
 御文 .....283, 290



バナナ型石器 .....142, 170  
 早川荘作 .....144, 151, 152, 176  
 ハリ質安山岩 .....148  
 ビエス・エスキュー .....149, 237, 250  
 東中江遺跡 .....116, 144, 152  
 東村武信 .....148  
 ヒスイ製品 .....151  
 肥前 .....259  
 複式炉 .....232  
 別当 .....141  
 ベンガラ .....139  
 北陸型 .....163  
 北陸人類学会 .....263  
 保科齊彦 .....127, 144, 182  
 細島熊野社 .....135  
 細島西ノ平遺跡 .....132, 135  
 細島宮平遺跡 .....135  
 掘立柱建物址 .....237, 259  
 堀越正行 .....169

ま

前川甚雄 .....131  
 前田式 .....202  
 勾玉 .....141  
 磨製石斧 .....120, 127, 131, 132, 135,  
 138, 141, 183, 191, 204, 232  
 政所 .....141  
 三日月形石器 .....171  
 水さらし場遺構 .....129, 144, 237, 241  
 門口 .....141

や

矢柄研磨器 .....119

八尾 .....259  
 矢張下島遺跡 .....116, 118, 129, 137,  
 144, 166, 175  
 山岸良二 .....172  
 山中樵 .....268  
 山内清男 .....172  
 山の神峠 .....124  
 弥生時代 .....178  
 八幡一郎 .....153  
 有孔石器 .....132  
 有舌尖頭器 .....119  
 弓矢 .....119  
 八日市新保式 .....118  
 米澤安立 .....127, 138, 141, 142, 170,  
 177, 262  
 米澤雲處 .....265  
 米澤康 .....121, 137, 141, 142, 144, 151,  
 175, 195

ら

礫器 .....112, 204  
 炉址 .....237

わ

和田千吉 .....268  
 渡辺誠 .....156, 242  
 藁科哲男 .....148



(6) 第2章 (原始・古代) 索引

早期	115
装飾石器	171
草創期	115
粗製土器	118

た

第一の道具	163
大珠	152
第二の道具	163
高倉忠則	138
高田善太郎	144
高田彦三	127
高沼遺跡	118, 124, 125, 144, 182
高橋健自	263, 268
打製石斧	120, 127, 131, 132, 135, 138, 141, 183, 191, 204, 250
砥石	112, 120, 127, 131, 138, 183, 191, 204, 237
館	141
竪穴住居	120, 232
立野ヶ原石器群	114
田島	125
田向遺跡	142, 170
チャート	250
中世館跡	141
彫器	112
徴古室	264, 265
貯蔵穴	120, 246
土掘り具	120
角田真也	174
坪井正五郎	142, 263, 265
定角式	131
天神山式	116

砥石	241
東京人類学会	263
刀剣形石製品	166
利賀下島遺跡	180
利賀十八景絵葉書	176
利賀ダム	129
利賀東山遺跡	129, 137
土坑	237
土製円盤	204
トチの実	158
トチムキ石	155
独鈷石	121, 138, 172
鳥居龍蔵	268
ドングリ	158

な

ナイフ形石器	112
中島栄一	168
長竹式	237
中谷寅造	135
中屋式	118, 237
揉錘器	112
新崎式	116
濃飛型	163
濃飛型扁平頭式	139
野原清四郎	127
野原善右衛門	131
野原平蔵	127

は

土師器	259
橋本正	163, 169
長谷部言人	263

楔形石器	149
串田新式	116, 185, 198, 232
凹石	204
黒笹九〇号窯式	180
球状耳飾	191
気屋式	118, 187
下呂石	148, 237, 250
見聞小録	267
後期旧石器時代	111
硬玉製大珠	152
黒曜石	147, 250
コザワシ	158
小島俊彰	131, 144, 176, 202
古代	180
小林達雄	163
小林行雄	151, 174
古府式	116
古府式期	229
古墳時代	178

さ

祭祀具	162
西勝寺	127, 138, 141
西勝寺遺物	176
細石刃	112
斉藤忠	152, 166, 171, 172, 177
坂上赤谷遺跡	141
坂上御坊平遺跡	139
坂上館遺跡	141
坂上望ヶ原遺跡	137, 138, 166
削器	112
三頭石斧	131, 159
信楽	259

自然流路	232, 237
刺突文	116
柴田常恵	142, 170, 263, 268
下梨こもむら遺跡	152
下梨花房遺跡	181
下野式	118
蛇紋岩	131, 146, 232, 250
使用剥片	127, 183, 191
縄文時代	111
縄文土器	129, 138, 183, 197, 229, 232
白河型石器	173
新崎式期	229
須恵器	191
珠洲	183, 259
ステッピングストーン	245
擦石	120, 138, 204
正硅岩	150, 204
精製土器	118
石核	112
石刃	112
石錘	127, 183, 191, 204
石鏃	119, 127, 138, 141, 183, 191, 204, 237, 250
石刀	121, 174
石棒	121, 127, 131, 132, 135, 137, 138, 174, 204, 232, 237, 250
石塊	112
石冠	121, 131, 138, 143, 166, 250
石器材料	146
瀬戸美濃	259
線刻石器	132
尖頭器	112
仙納原遺跡	125, 166

## 第2章(原始・古代) 索引

## あ

朝日下層式土器 .....116  
 阿別当 .....125  
 阿別当遺跡 .....141  
 安藤文一 .....153  
 E・S・モース .....262  
 異形石棒 .....166  
 異形石器 .....132  
 石錐 .....191  
 石組み炉 .....232  
 石匙 .....204, 237, 250  
 石皿 .....120, 132, 196, 204  
 石田収蔵 .....268  
 石田外茂一 .....158  
 石鎚 .....131  
 石鋸 .....142, 170  
 石棺 .....266  
 遺跡位置図 .....123  
 稲作 .....179  
 井口I式 .....118  
 伊万里 .....259  
 岩畠野式 .....116, 202  
 岩渕浅生谷遺跡 .....131  
 岩渕久保平遺跡 .....118, 129, 137, 144,  
 159, 166, 195  
 上島遺跡 .....135, 175, 177  
 梅原末治 .....268  
 ヴェルム氷期 .....111  
 浦辻清次郎 .....127  
 越中瀬戸 .....259

江見水蔭 .....268  
 円盤状土製品 .....204  
 大豆谷遺跡 .....124, 127, 137  
 御経塚式 .....118, 237  
 奥大勘場 .....125  
 押上森蔵 .....268  
 押場遺跡 .....127  
 折戸五三号窯式 .....181  
 尾張猿技窯 .....180

## か

貝殻条痕文 .....116  
 皆葎遺跡 .....111, 118  
 灰釉陶器 .....180  
 加曾利B式期 .....237  
 滑車形土器 .....266  
 滑車形土製品 .....127  
 合掌造り .....259, 262  
 上山田・天神山様式 .....197, 229  
 環状遺構 .....237, 239  
 環状石斧 .....131, 159  
 環状木柱列 .....239  
 環石 .....159  
 木内石亭 .....173  
 岸本雅敏 .....155  
 北島遺跡 .....124, 131  
 北豆谷遺跡 .....127  
 旧石器時代 .....111  
 凝灰石 .....257  
 局部磨製石斧 .....114  
 御物石器 .....121, 139, 163, 250



楡原累層 .....10, 14, 15  
楡原礫岩層 .....11

は

ハエ目 .....52  
鉢巻山 .....9  
ハチ目 .....52, 55  
爬虫類 .....32, 51, 54  
バツタ目 .....52, 55  
東俣 .....87  
飛驒古期花崗岩類 .....13  
飛驒新期花崗岩 .....10, 14, 15  
飛驒変成岩類 .....10, 13, 14  
ヒメアオキープナ群集 .....89, 90  
表層雪崩 (アワ) .....18  
風衝草原 .....87  
風衝低樺木林 .....87  
風衝林 .....5  
ブナクラス域 .....21  
ブナ群団 .....89  
船津花崗岩 .....14, 15  
冬日 .....15, 16  
北陸第三紀層 .....11  
ホトトギス類 .....28  
哺乳類 .....23, 50, 54

ま

真夏日 .....15, 16  
豆谷ダム .....15  
マルバマンサクープナ群集 .....89, 90  
ミカヅキグサ亜群集 .....94  
水無花崗岩 .....13, 14  
水無川 .....5, 78

水無平 .....78  
水無ダム (利賀川ダム) .....5, 8  
水無断層 .....11  
水無山 .....9, 21, 78  
ミズナラータニウツギ群集 .....64  
ミズナラ・ケヤキ群落 .....92  
ミズナラ亜群集 .....89  
ミズナラ群落 .....89, 91  
ミズバショウ .....80  
ムカシトンボ .....42  
百瀬川 .....8

や

薬草 .....95  
谷内谷自然環境保全地域 .....53, 93  
ヤブツバキクラス域 .....21  
山 .....7  
山田川 .....8  
ヤマドリゼンマイ亜群集 .....94  
ヤマネ .....45  
山の神自然環境保全地域 .....50, 88  
有斑紋 (ミズバショウ) .....80

ら

落葉広葉樹林 .....56  
陸産貝類 .....44, 51  
竜口谷 .....77, 85  
両生類 .....36, 51, 54

わ

脇谷のトチノキ .....67  
渡り鳥 .....32

## (2) 第1章 (自然) 索引

甲虫類	40
コウモリ類	26
コオロギ類	42
古期岩類	10, 11, 12
黒鉛	14
コナラ群落	89
コムラサキ黒色型	39
金剛堂山	4, 9, 21, 57, 62, 84
昆虫	38
昆虫類	51, 54

### さ

最高気温	15, 16
最低気温	15, 16
サワフタギ灌木林	79
山菜	95
湿原	61
準平原	4
晶質石灰岩	14
常緑広葉樹林	56
常緑針葉樹林	56
新第三紀層	10, 11, 12, 13
神通川	8
垂直分布	57
菅沼ダム	75
生態的地位	22
積雪量	17
石灰岩	14
ゼフィールス	39
セミ類	42
千束ダム	15
閃緑岩類	15
祖山ドーム	14

### た

高峰	9, 21
谷名	7
タメ糞	24
淡水魚類	43
断層	11
暖帯林	21, 56
チシマザサ風衝草原	79
チャボイヌツゲキンコウカ群落	88
チョウ目	53, 55
鳥類	27
蝶類	38, 51, 54
鳥類生息マップ	32
ツグミ類	28
利賀川ダム (水無ダム)	5, 8
利賀断層	11
利賀地溝	12, 13
利賀のトチノキ	69
トチークサソテツ群集	64
トチータニウツギ群集	66
トチ亜群集	89
栃折峠	74
富山県自然環境保全地域	78
富山県立白木水無自然公園	78
トンボ目	51, 54
トンボ類	42

### な

中金剛	87
ナガレタゴガエル	48
雪崩	17
ニホンカモシカ	44

# 索引

注1、頻出する語句については、原則として重要なページのみ記載した。

2、原則として同一項目内は初出ページのみ記載した。

## 第1章 (自然) 索引

動物名・植物名は、重要なものを除き、目名を記すにとどめた。

あ	か
赤祖父山 ……………9, 21	ガキ田 ……………61, 62, 82, 84, 88
亜寒帯林 ……………21, 56	角閃石片麻岩類 ……………14
アテビヨウ谷 ……………5, 73, 78	花崗岩類 ……………10
亜熱帯林 ……………21, 56	カサスゲ亜群集 ……………94
医王山累層 ……………11	カメムシ目 ……………52, 55
井田川 ……………8	カモ類 ……………31
イヌツゲ—ミズゴケ群集 ……………94	カラ類 ……………28, 29
イヌワシ ……………29, 47	カリヤスモドキ—オオコメツツジ群落 ……………88
岩稲累層 ……………10, 11, 13, 14, 15, 82	カリヤスモドキ—キンコウカ群落…88
岩長谷 ……………72	蛾類 ……………43
牛首断層群 ……………11	カワネズミ ……………46
牛岳 ……………9	関西電力利賀ダム ……………15
ウラジロガシ—ヒメアオキ群集 …67	キツツキ類 ……………29
扇山 ……………9	クマタカ ……………29, 47
オオタカ ……………30	クマ棚 ……………25
大寺山 ……………9	クロコムラサキ ……………39
大長谷川 ……………8	クロシジミ ……………49
奥金剛 ……………87	ケヤキ群落 ……………89
オニグルミ—オクノカンスゲ群集 64	小アテビヨウ湿原 ……………82
オニグルミ—ジュウモンシダ群集 66	合口ダム ……………15
御仏供水 ……………70	降水量 ……………15, 16
温帯林 ……………56	降雪量 ……………17
	コウチュウ目 ……………52, 55



# 利賀村史

1

自然・原始  
古代・中世

平成十六年十月十五日 印刷

平成十六年十月三十一日 発行

編集 利賀村史編纂委員会

発行 利賀村

富山県東砺波郡利賀村利賀一七一  
電話 〇七六三(六八)二二一一

印刷 第一法規株式会社

東京都港区南青山二一一―一七  
信越支社 長野市岡田町一七六

(第二回配本)













